

市民協働によるまちづくり

市民討議会を開催しました

7月22日、市民学習情報センターで市民討議会を開催しました。市民討議会は、市民協働によるまちづくりを推進するため、平成24年度から公益社団法人五所川原青年会議所と市の協働で実施しており、今年で6回目。無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内書を送付し、参加を希望した市民から抽選で決定した方々が「ごしょがわらの子育てをみんなで考えよう！～より良い子育て環境って何だろう？～」をテーマに意見を出し合いました。

参加者は、5つのグループに分かれ、①ごしょがわらの子育て環境の良いところ・改善してほしいところ、②より良い子育て環境に向けて必要なこと、③より良い子育て環境に向けて自分たちでできることの3ステップで討議を行いました。様々な立場や年代の参加者が子育てについて普段感じていることを共有し、最後にグループごとに討議結果を発表しました（概要は下表参照）。

市民討議会のコーディネーターを務めた平井太郎准教授（弘前大学大学院地域社会研究科）は、「子育てニーズが多様化する中で、市民が主体となって子育て世代を支える取り組みも着実に増えている。本日話し合われた様々なアイデアをぜひ皆さんの手で実行につなげて欲しい」と総括しました。



意見を出し合う参加者の皆さん

発表内容の概要

プレミアムハロウィン in 川端

ハロウィンに子どもたちが仮装して街に繰り出し、地域の大人たちと交流を深めながら、善意を募り、老朽化した公園の遊具を修繕することにより地域で遊べる環境を整える。



自然・家族とのつながり ～自然・食・つながり～

家族3世代が楽しめるイベントとして、漬け物体験コンテスト、大自然宝探し、親子運動会を開催し、地域の味の伝承や運動による体力づくり、家族の交流促進を図る。

自然アイシ隊

親子で自然に親しむため、専門家の指導の下、公園を自然観察しながら、食べられる植物を採取・調理することで、自然愛を育むとともに公園の活用を促す。

子どもカフェ

子どもカフェを開設し、地域住民との食事づくりによる食育や、子育てに関する情報交換等を行うことで、子どもたちの居場所づくりを図る。

給食で地域を盛り上げたい!

学校給食を活用し、地域住民を交えて①みんなで給食を食べてみる、②新メニューの提案、③人気投票を行うことで、食育だけでなく地域コミュニティの活性化につなげる。



討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市長へ提出されます。

参加した皆さんから出された子育て支援に関する意見やアイデアは、市民意見として今後の施策推進の参考にさせていただくとともに、青年会議所をはじめ市民有志の方々によって10月頃に事業化される予定となっています。